

# ぱんだぐみだより

平成29年2月1日 尚徳福祉会 保土ヶ谷保育園

益々寒さが厳しくなってきましたがこの時期しか味わえないこの寒さ！どんな楽しいことができるかワクワクします。寒さに負けず体をたくさん動かしながら過ごしていきたいと思います。

## ★給食の準備★

今まで保育士が茶碗にご飯、汁をよそって子どもたちが取りに来るスタイルだった配膳ですが、成長と共に出来る事が増え、少し変わってきました。「じぶんでいれるからだいじょうぶ！」とご飯と、汁を自分たちでよそようになりました。すると、自分の食べられる量も分かり、大盛りにする子どもがいれば小盛にする子どもの姿も見られます。また、当番が配る時は、グループの友だちの事を考えながら「〇〇ちゃんはすくなくいれてあげるよ」と言った声も聞かれ、友だちの事を考える姿が見られます。

## ★自慢のぱんだ組

1月半ば、2回目の図書館へ行ってきました。子ども達も自分の読みたい本を前回の訪問で見つけていたようで早々に探しに行き椅子に座っていました。すると、地域の利用者の方から「上手に見る事出来るね」「子どもたちが本を見ながら話している内容を聞いていると微笑ましく感じますよ」と声を掛けて頂きました。そんな声を掛けてもらえる子ども達！自慢のぱんだ組だなと嬉しくなりました。

## ★自分で考えて…やってみて…！★

保育室では、塗り絵が人気の遊び！夏と比べてみると筆圧が強くなり鮮やかな色合いで塗っています。そして、「はみださないでぬれたよ！」「きれいでしょ！」と得意気に見せてくれます。先日は巨大塗り絵を作り子どもたちに渡してみると数人で話しながら何日もかけて塗っていました。

他にもピタゴラスが人気の玩具で、縦、横に大きくしていくだけだった遊びがから複雑な形を作る事が出来る様になり、どこかの国にある芸術的な建物のような作品が部屋に表れます。作り方を教えたわけではないのに、自分たちで考えて、やってみて、失敗して、また考えて、と自分で良い方法を見付けながら遊びを展開する姿が見られます。

作った物はいつか壊れてしまう…。しかし壊れても友達を責めたり諦めたりすることなく修復する姿をみせてくれます。これからも子どもたちの発想力を大切にしながら十分に発揮できる環境を作っていこうと思います。

## ★冬のあそび★

寒いこの時期ならではの遊びや自然から学ぶ事が沢山ありますね。

正月は凧を作り、凧上げ、すごろく、コマ回し、かるた…沢山昔から伝わる遊びをたのしみしました。この遊びは得意だけこの遊びは苦手…。子どもたちは自分でやりたい物を選んで遊んでいました。すごろくをする場面で「考えたな！」と思った事が一つ。すごろくの駒が足りなくなりました。すると考えた子ども達は折り紙を持ってきて四角い形に小さく折りたたんでテープで止めて自分の駒の完成です！これで人数が増えても皆で楽しめる事ができました。

また寒い日を狙って氷作りを行いました。水の量は少ないと氷ができやすい事、太陽が当たらない所がいい事など伝えると自分たちでバケツに水を入れ置き場所もすべり台の下や柱の陰など考える子ども達でした。さて、氷は出来るのでしょうか？翌朝、できていなかった事を知りがっかり…。その後も何度か水をはって帰ること数回…。ようやく氷ができました。子どもたちは見たり触ったりそれぞれに感じたことを言葉にして伝えてくれました。もっと大きくて分厚い氷を作る為に氷作りは続きます…。



## ★2月の保育★



年長組の卒園に向けてぱんだ組が中心となりお別れ会を計画したいと思っています。

また、クッキングでは『ドーナツ作り』を14日に予定している他、廃材を使っての制作も始めようと思っています。廃材を使ってどんな物が出来るか！子どもたちの発想力を楽しみにしています。



## ★おしらせ★

1月中旬より靴等の置き場所の変更をさせて頂きました。子どもたちの動線が良くなりました。ありがとうございました。2月25日(土)にはクラス懇談会を行います。今までの写真でぱんだ組を振り返る映像を映したり子どもたちの姿についての話、年長に向けての話をさせていただきます。

沢山のご参加お待ちしております！！

また、廃材を作った遊びを行うに伴い家庭にあるお菓子の空き容器等を集めたいと思いますのでご協力お願い致します。回収箱は保育室に置きます。